



ジュゴン Vol.95

ちゃんぶるニュース

 **SDCC 2017. 11. 28**
Save the Dugong Campaign Center

CONTENTS

- 2/3 情勢・桜井国俊さん講演会
- 世界自然遺産に向けて
- 4/5 各地の活動報告
- 10.25 海上座り込み
- 6/7 「美ら海を未来へ」上映会
- わんさか通信★ジュゴンのわ
- コラム「Cちゃんはどこ？」



今年の9月にスイス・ジュネーブで水銀に関する水俣条約の第1回締約国会議が開かれました。7月には核兵器禁止条約が採択され、後押しした核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）がノーベル平和賞を受けました。どちらも被害を受けた方々の長年の身を持っての『命がだいじ』という訴えが、人々の共感を得て世界を動かしたのだと思います。しかし、核兵器禁止条約に署名しない日本政府の態度は、恥ずかしく、情けない限りです。

私たちは、ジュゴンの声をIUCNの国際会議の場で響かせてきました。始まりは2000年のアンマン会議、この時にやんばるの森の世界自然遺産への登録が促され、「沖縄のジュゴン、ノグチゲラ、ヤンバルクイナの保全」が勧告されました。それからSDCCは、バンコク、バルセロナ、濟州島、ハワイでの国際会議で「Save the Dugong」「No Base」と訴え続けてきました。

ようやく、やんばるの森が世界自然遺産に登録申請されました。でも、どう考えても「基地と隣り合わせで、オスプレイが飛び交う状況」が世界自然遺産たり得とは思えません。つい最近も米軍ヘリが炎上、墜落したばかり。基地と自然保護は両立しません。真の世界自然遺産にするには基地を無くしていかなければなりません。

ジュゴンの声が聴こえますか

やんばるの森、辺野古の海は生物多様性のホットスポット、豊かだけど危機的状況なのです。長い長い年月をかけて創られた生態系。人の力の及ばない、自然の働きで。そこにしかない希少種、数えきれない生き物が生きている『地球の奇跡』なのです。辺野古・大浦湾は、わかっているだけで5300種の生き物がいて、調査すると新種が見つかります。そして、絶滅の危機にあるジュゴンの生息域なのです。

残り少ない手つかずの自然。命を生み、育み続ける母なる海。魂が還っていくという海の向こうのニライカナイ。戻るべき場所を壊してしまって、人はどこへ行こうとしているのでしょうか。取り返しがつかなくなる前に、方向転換しなくては…

「核兵器のない世界を」 「戦争のない世界を」 「平和な世界を」
ジュゴンの平和思想を広げていきたい

（関西 池側恵美子）

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] info@sdcc.jp



情勢

「オール沖縄3勝 反辺野古、民意は揺るがず」



10月22日に投開票された衆議院選挙は「自民大勝」で終わりました。しかし、比例議席では自民・公明で半数に届かず、小選挙区で自民党が得票した全有権者に占める割合（絶対得票率）は25.2%にすぎません。自民党が惨敗した09年衆議院選挙の26%と変わりません。小選挙区制度に問題があるのです。また、安倍内閣が信任されたわけではありません。共同通信が22日に行った出口調査では「安倍首相を信頼している」が44%、「信頼していない」が51%です。森友・加計問題の追及や安保法制反対運動で作ってきた「市民と野党共闘」が、民進党の分裂、希望の党への合流で破壊されたからです。野党統一なら「小選挙区で63議席増」（朝日新聞10月24日）、「84選挙区で逆転可能」（毎日新聞・同日）との結果が出ています。「筋を通す。市民の声に寄り添う」立憲民主党が、野党第1党になり、「期待する49%、期待しない41%」（朝日新聞世論調査10月25日）に市民の声が現れています。

沖縄では1区、2区、3区と勝利し、「オール沖縄3勝、それでも新基地造るのか」（沖縄タイムス社説）、「反辺野古 民意揺るがず」（琉球新報社説）と県民の声を代弁しています。20年にわたる辺野古新基地建設反対の闘いが稲嶺進名護市長、翁長雄志沖縄県知事を誕生させ、オール沖縄をつくりあげてきました。4区で当選を果たせなかった仲里利信さんも高齢で出馬表明が遅れたことを敗因としながらも、「玉城デニーさんは無所属で当選し、オール沖縄はまだ生きている」（琉球新報10月23日）とオール沖縄の力に自信と確信を持っています。翁長知事も「オール沖縄の思いが県民に届いた。4選挙区で勝利した3年前の流れは維持できている」と来年2月名護市長選挙、11月県知事選挙の勝利にむけ決意を固めています。オール沖縄とともに「基地ではなく、ジュゴン保護区」の輪を広げ、辺野古新基地阻止に前進しましょう。（10月25日）

（事務局 蛭川義章）



報告

「米軍も、やんばる世界自然遺産申請の当事者」

11/12 桜井国俊さん（沖縄大学名誉教授）講演会

「辺野古・高江の基地建設と世界自然遺産は両立するか」

11月12日（日）エルおおさかで、桜井国俊さん（沖縄大学名誉教授）の講演会を行いました。参加は70名。主催はSDCCも参加するStop!辺野古新基地建設!大阪アクションです。

2月、日本政府はやんばるの世界自然遺産登録申請を行いました。「やんばるの亜熱帯雨林は『世界の奇跡』といえる生物多様性をもつ地域」（桜井さん）

しかし「申請は北部演習場と辺野古新基地建設に触れていない。ユネスコが要求する『完全性』がない」「世界自然遺産条約では、地域が複数の国におよぶ際は関係国が協議を行うよう定めている。だからアメリカも当事者」「アメリカ軍は自らの環境基準にもとづき、環境調査を行っている。そして北部演習場の一部返還と高江のオスプレイパッド建設により、訓練範囲がより狭い範囲に集中し、生物への悪影響が強まると自らのレポートで認めている」「米軍も当事者であり、日本政府は米軍と北部演習場の環境保全に関して交渉をするべきだ」（桜井さん）

ジュゴン訴訟控訴審で原告適格をみとめる勝利判決ができました。沖縄の未来は豊かな自然環境とともにある。「ジュゴンのCちゃんを探せ！」など幅広いキャンペーンが大切と熱く訴えられました。

（関西 松島洋介）



「沖縄の未来は豊かな自然環境とともにある」と熱く語る桜井国俊さん

世界自然遺産に向けて 学習会とIUCN視察メンバーへの働きかけ

10月15日、やんばるの森の世界自然遺産登録と米軍基地の問題を考える学習会が「島ぐるみ会議東」の主催で、東村農民研修施設で開催されました。沖縄大学名誉教授の桜井国俊先生と共に私も講演し、北部訓練場が世界自然遺産登録の妨げになる可能性や、それをどのように解決すべきかについて議論しました。

10月11日に東村高江の民間地に米軍のヘリパッドが墜落、炎上したこともあり、多くの住民と市民が関心を持って学習会に参加をしてくれました。学習会に先立って抗議集会が高江であり、そこから直接駆けつけて頂いた人々の参加は心強かったです。

私が強調したことは以下の4点です。1)ユネスコ/IUCNに提出した日本政府の推薦書は、遺産推薦地に隣接する北部訓練場の環境の現状や管理体制に関する情報が全く欠如している。2) 米軍は北部訓練場の環境調査を行っており、また管理計画も作成しているが、それらを日本政府は推薦書に掲載しきれていない。3) 米軍は重要な利害関係者であるが、遺産登録について何の見解も示していない。4) これでは IUCN が登録の可否について科学的判断を下せず、ユネスコによる遺産登録は非常に難しい、ということです。

今後登録に向けて鍵となるのは、北部訓練場に関わる情報を日本政府がきちんとユネスコ/IUCN に提供できるか、また米軍からの登録に向けての協力（ヘリパッド使用を含む訓練の中止や見直しなど）をいかに引き出せるかと言えます。

私はIUCNのメンバーであるSDCCの国際担当として、これらの問題を来沖していた IUCN 現地視察のメンバーに提示し、メンバーからは「勿論それらの問題を考慮する」という回

答をもらっています。また、墜落したヘリと遺産候補地の位置関係を確認すること、日本政府の墜落事故への対応を検証することを視察メンバーに求めましたが、視察メンバーがその位置関係を確認した、という新聞報道がありました。

SDCC としては、IUCN への更なる情報の提供と、米軍にはやんばるの森の自然遺産登録に向けての協力の要請を続けていきます。
(沖縄 吉川秀樹)



高江ゲート前でアピール
「米軍はやんばるの森の世界遺産登録を妨害するな！」

コラム 「辺野古差し止め訴訟 次回は11月14日」

10月10日、辺野古新基地建設工事による「無許可の岩礁破壊は違法」とする第1回口頭弁論が那覇地裁で開かれました。翁長知事は意見陳述で「政府は恣意的に漁業関連法令の見解をねじ曲げている。法治国家の在り方からほど遠い」と批判しました。今年3月まで、政府は県の漁業調整規則にもとづき「岩礁破壊許可」を受けて工事を進めてきました。しかし、工事の遅れで4月以降は「名護漁協から漁業権を買い取ったので県の許可は不要」と一方的に護岸工事を進めています。「漁協が漁業

権を放棄すれば、県知事の許可は不要か」が裁判の争点です。水資源の乱獲を防ぐために行政が一定の水面で一定の漁業をする権利を漁業権として漁協に与えました。いわゆる免許制度です。ですから、地元の漁協が漁業権を一部放棄しても、県知事が免許変更をしない限りは漁業権を設定した「一定の水域」は縮小されません。従来、水産庁もこの見解を取っていたのです。工事差し止めの仮処分も並行して審理されていますが、結審のめどはありません。(10月25日) (事務局 蛭川義章)

東京

「辺野古の新基地建設を許さない10・4集会 翁長知事の工事差し止め訴訟支援！オスプレイ配備撤回！」

10月4日、日比谷野外音楽堂で、「辺野古新基地建設を許さない10・4集会」が開催され、2千人が集いました。オープニングは、弥勒（Milk）さんの歌声で元気にスタートです。

沖縄から駆け付けた「基地の県内移設に反対する県民会議」の大城悟事務局長は、「海上では護岸の工事が行われているが、ゲート前の行動や全国からの声によって、工事は沖縄防衛局の思い通りには進んでいない。大きな行動で工事を遅らせ、建設を止めよう」と、訴えました。

土砂運搬を拒否して辺野古を守るとの全国港湾労働組合連合会の発言や、機動隊派遣中止を求める発言、オスプレイの配備撤回などの発言がありました。

SDCCからは、蜷川事務局長が、ジュゴン裁判の経過や沖縄で開催した9・3シンポ&コンサートの報告を行いました。我々が事務局長の発言とあって、首都圏メ

ンバーもジュゴン帽子とバナーと一緒に壇上でアピールしました。

集会後は、「辺野古の海を埋め立てるな！」と、銀座デモを行いました。（首都圏 宮城韶子）



安倍9条改憲NO！ 全国市民アクション11・3国会包囲大行動

11月3日、憲法公布記念日に「安倍9条改憲NO！ 全国市民アクション11・3国会包囲大行動」が開催されました。集会エリアの4か所にステージが設けられ、幟旗やプラカードを掲げて4万人の参加者で国会を包囲しました。道路には人が溢れ身動きが取れないほどでした。

国会正面前ステージでは、集会開会前にプレコンサートが行われ、Milk [弥勒] さんが、「地球どう宝」などを唄い、集会を盛り上げました。

集会の応援に立憲民主党の枝野議員、共産党の志位議

員、民進党の山崎議員、社民党の福島議員の国会議員に、弁護士、大学教授、落合恵子さんらが駆けつけられ、皆さんから「9条改憲を許さない、安倍改憲を皆で止めよう、皆で力を合わせて頑張ろう」などスピーチされました。

国会に向かって「戦争反対！ 9条をこわすな！ 安倍改憲を皆でたおそう！」など参加者の大きな声でコールしました。全国で開かれた市民アクション、みんなで頑張しましょう。（首都圏 矢敷克子）



シュワフゲート前 ジュゴンも座り込みに参加！



普天間盤回し コマルザンス！ダメジャン！

©博物館カフェ「ウエラ館」ブログ



辺野古 新基地建設許さない10.25海上座り込み

海上座り込み大行動の成功とつれない民意に焦る政府・防衛省

辺野古新基地建設、大げさなセレモニーで、いわゆる海上工事「着工」を演出してちょうど半年の10月25日、衆院選であらためて示された「辺野古NO!」の民意がさらに海上での座り込み大行動の成功として結集した。

しかし、それまで、選挙や高江でのヘリ墜落の影響で一時的に止めてきた資材の搬入を防衛局はあえてこの日を狙ったかのように再開させてきた。それは、示された民意に挑戦し引き続き問答無用のやり方を押し進めることをなんとか県民に見せつけようとするかのようであった。

だが、私たちは知っている。選挙で幾たびも示されている民意を背にそれぞれの場でたたかい抜くこと、そしてそのたたかいが思うように工事を進めることのできない状況に政府防衛局を追いつめていることを。

午後1時から海上行動を終えたカヌーや抗議船のメンバーとゲート前座り込みメンバーとの連帯集会在辺野古の浜で300名近くが結集し、勝利まで固く連帯して頑張り抜こうと決意を固めあった。(沖縄 高垣喜三)



80人の仲間とともにカヌーで海へ

埋め立て着工から半年の節目に行われた海上行動に参加してきました。この大行動は7月25日に第一回が行われ、今回は二回目です。ゲート前の座り込みの様子、数の力で工事を止めるという事が目的で、第一回は87人、そして今回は80人も仲間がカヌーで辺野古の海を埋め尽くしました。船に乗った人も含めると、151人も仲間が辺野古の海に座り込んだ事になります。

朝6時半、私が集合場所のテント2に到着すると、既に沢山のカヌーを浜辺に運び出している最中でした。7時から、ヘリ基地反対協の方々を中心に朝のミーティングが行われました。海勢頭豊氏の月桃などが印刷された手作りの歌詞カードが配られました。K1護岸前を中心に抗議行動を行う事が決定され、浜から順番にカヌーを漕ぎ出しました。風が非常に強く、途中で漕げなくなっ

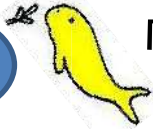
た方のカヌーに乗り移り、私のカヌーを引っ張りながら二人乗りで現場に向かいました。キャンプシュワブからは沢山の米兵が出てきて、監視するようにこちらを見ていました。

前回同様、数の力で工事は止まりました。大勢集まれば、工事は止まります！次回の大行動は2月10日が予定されています。是非一緒に辺野古・大浦湾にカヌーを漕ぎ出し、ジュゴンの棲む海を共に守りましょう！

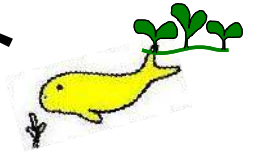
(岡村藤美)



報告



「美ら海を未来へ」上映会&沖縄レポート ～ 辺野古・高江 新基地建設反対によせる思い ～



昨年10月、高江のヘリパッド建設が進む中、安保関連法に反対するママの会@すいせつ、吹田平和委員会の皆さんが「何か出来ることはないか」と企画された『標的の村』上映会に、SDCCも協力団体として参加。「また一緒に何かしたいね」と言っていたのが、今春、映画をつくられた中井信介監督と出会ったことで、今回の上映会実現へとつながりました。

映画は、普天間、辺野古、高江、伊江島で、基地建設を止めるために座り込む人たち、沖縄の自然、文化を大切にしている人たち、辺野古へ土砂を送らせないと活動されている小豆島の方々など、たくさんの声を丁寧に取材されています。

沖縄レポートは、SDCCが担当。辺野古の情勢やジュゴンのこと、SDCCの活動についてお話ししましたが、とてもわかりやすかったと好評でした。

問われているのは、次の世代に何を受け渡していくのか。

今回の企画は、それをどのように形にしていけるのかを、参加者とともに考える場になったのではと思います。

(関西 山根富貴子)



学習と交流を深めた「第2回サマーキャンプIN 伊江島」



伊江島わびあいの里の協力のもと9月10日・11日1泊のサマーキャンプ・学習会を行った。

発案者である山城博治さんを含め約50人の参加で、沖縄反基地土地闘争の原点である阿波根昌鴻さんのたたかいの歴史・思想をあらためて学び、また島を巡り、米軍基地機能が強化されている実態を目の当たりにした。

地元の方からは、島民は当然平和をのぞんでいる。しかし一方で「軍用地料」や「振興策」が生活基盤に深く入り込んでいるという現状も少なからずあると報告された。

しかし、基地あるが故の事件や事故が発生すれば、そんな生活も吹っ飛んでしまう事も忘れてはならない。「金は一時、土地は万年（一生）」この言葉をみんなの思いにしていかなければならない。まさに阿波根昌鴻さんの心を継承することの意味を痛感したサマーキャンプだった。

わびあいの里の謝花悦子さんは、阿波根おじいさんが権力と闘い、必要とされるところに力を貸し、常に弱い人々を助けていたと言う人間性について語り、博治さんは孤軍奮闘して

いる謝花さんを応援し、緩やかにしなやかに平和運動の原点を探っていこうと話された。

ここに暮らす人々と共に一人一人が阿波根さんの語る「5本の指」に学びそれぞれの力を出し合っていきたいと強く共感した。

(沖縄 高垣縁)



あっちでこっちで



10/15 さよなら原発北千里駅前チャリティフェスタにブース出店



10/21「標的の島 風力たか」豊中上映会 三上智恵監督と

ジュゴンをアピール♪



11/18-19 大阪自然史フェスティバル 子どもたちでにぎわったブース

Cちゃんは どこ? ~こらむ・コラム~

Cちゃんは、今どこ?…大浦湾に姿を見せなくなり心配ばかりでいたが、防衛局の調査で、どうやら国頭村沖辺りで、Cちゃんの声が確認されたとか?…そもそも、防衛局の言うことは信用できないが、もしかして、捕獲され食べられたんじゃないか?と思っていたところに、ひとまず、ホッとしたもんだ。

しかし、ここにきて事態が急変。建設の遅れを取り戻さんと、防衛局は国頭村奥港で石材を台船に積みこみ、海上ルートで直接キャンプシュワープに運ぶ筈に出た。日頃、静かな奥集落に、突然、数十台とも百台とも言われるダンプカーが押し寄せ、情報を聞き駆けつけた市民が、ダンプ搬入を阻止せんと道路に座り込み、寝転がり抵抗はしたものの、結局機動隊に排除され…。その騒然たるや。

さらに、海上搬入ルートとして、本部阿塩川港の使用を防衛局が発表。使用許可も得ているとのこと、市民の怒りが爆発した。流石にこれには、平和運動センターの山城博治議長も激怒。怒りの矛先は、翁長知事に向けられた。「あらゆる手法を駆使して、辺野古新基地建設

を止める」と言いながら、言行不一致ではないか?と猛反発。県の担当職員も弁護団に相談した上で、結局、国の提訴を恐れて、許可せざるを得なかったと弁明。「それもおかしい」とするオール沖縄側の怒りは収まらず、翁長知事も「使用許可の取り消しに向けて、検討する」旨を、発言。おりしも、中国福州市での友好外交から戻ったばかりであった。

この騒動は、工事の遅れを取り戻すための防衛局の焦りから出たものだが、一つは、抵抗運動の分散化を狙い、もう一つは、ダンプカー百台とか二百台ぶんの石材が台船で運べることを考えてのようだ。

ところが、辺野古護岸での石材投下作業は、思いのほか時間がかかり、そうは効率よくいかないと、海上搬入された翌16日に、北上田毅さんがゲート前で報告。そのあと私は、みんなを激励し、歌い、県行政のチェック機能を今回のようにみんなで果たしていこうとまとめたが、この暴挙を許せば、さらにCちゃんの手を汚すことになるからだ。

海勢頭豊 (うみせど ゆたか : SDCC 共同代表)

① わんさか通信 ★ ジュゴンの ①

自由研究・亀の産卵

少し前の出来事になりますが、夏休みも残り数日になった頃「自由研究の宿題をやってない」と言い出した小学四年の孫。

よし今日あたり青海亀が孵化して海に帰る頃だから、夜に海岸に行ってみよう!と海亀の調査を十年間やった事がある旦那に連れられ秘密の浜へ。

海亀は産卵後カモフラージュの為、産卵場所付近をわざと荒らして、どこが産み場所か分からなくして海に戻るそうだ。

素人目ではまったくわからない砂浜を「ここか?」と掘り出す・・ほんとに小亀が出てきたではないか!!

うそ~かわいい~、大喜びの孫達。ヘソがやわらかいのは戻してよ、と言われても亀にヘソがあるわけ?・・ある、ある!



ここじゃないか



子亀のおへソ…?

月明かりを頼りに海に向かって歩き出す小亀たち。小さいのに偉いね、大海原で頑張れよー、バイバーイ。

興奮して小亀の旅立ちを見送りました。

砂浜のある海岸の大切さを実感。大きな亀になってまたこの浜に戻ってきてね。亀さん感動をありがとう♪

(中縄・小平)

<首都圏>

- ・12/9(土) 命の海を守ろう! 緊急上映会
「いのちの海 辺野古 大浦湾」
11時 13時半 2回上映
大田区池上会館視聴覚室 前売 800円 当日 1000円
主催: ZENKO 南部 協賛: SDCC、平和・環境・人権しながわ
- ・12/12(火) 首都圏忘年会 19時~ 目黒「遊食家 ゆがふ」
弥勒さんライブ
- ・12月22日(金) 首都圏ミーティング 19時~ 飯田橋事務所

《 今後のスケジュール 》

<関西>

- ・12/3(日) 14時~ 大人 500円 学生 300円 映像とお話し
「学生が出会った沖縄 沖縄問題は誰のものか」
PLP会館5F (JR 天満駅、地下鉄扇町駅下車)
- ・12/17(日) 東アジアを戦場にするな! 沖縄と韓国をむすぶ平和・
軍縮のためのZENKOスピーキングツアー 大阪集会
13時半~ 国民会館・大ホール(天満橋駅下車) 500円
- ・関西ミーティング 毎週火曜日 19時~ (年末年始は中止)
場所: 関西事務所

団結まつり

全交主催の団結まつりが、10/29 東京、11/5 大阪で開催されました



ゲストの沖縄宮古島の楚南有香子さん(ていだぬふあ島の子の平和な未来をつくる会)。本土では、ほとんど報道されることのない、南西諸島の自衛隊配備についてアピールされました。@大阪



SDCCはおでんと泡盛「じゅごんの里」を販売。前日から仕込んだおでんが大好評。署名もたくさん集まりました。@大阪

<名護市長選挙への派遣カンパのお願い>



名護市長選挙は2018年1月28日告示、2月4日投開票日です。稲嶺進市長は辺野古・大浦湾の埋立て阻止を実現するために立候補します。相手候補は自民党系名護市議団会派の代表です。安倍官邸は全面的にバックアップしています。オール沖縄の先頭に立つ稲嶺市長三選を実現するために、今回もスタッフを派遣します。カンパをよろしくお願いします。

<次号のニュース発行日>

名護市長選挙の取り組みを報告するために、次号の発行日を1月末から2月中旬に変更します。ご理解をお願いします。

12/1署名を提出します

この1年、集めてきた署名「沖縄のジュゴン、ノグチゲラ、ヤンバルクイナを守ろう」が1万1千筆を超えました。

ご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。

12月1日、防衛省、環境省、外務省と交渉し、署名を提出します。

署名は、提出後も継続して集めますので、今後ともご協力よろしくお願い致します。



ジュゴンちゃんぶるニュース VOL.95 2017年11月28日発行
ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)
〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-2-1
第1千代田ビル301 なかま共同事務所内 TEL/FAX 03-5228-1377
○ <http://www.sdcc.jp/> ○ info@sdcc.jp
(関西連絡先) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号野口ビル302
TEL/FAX 06-6353-0514

会費(2000円)&カンパ振り込み先

郵便振替:

加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター
口座番号 00140-9-660199

他行、コンビニからは: ゆうちょ銀行 ○○八支店
口座番号 普通 8159084

ちゃんぶるニュース購読会員募集中です。年会費2000円で年6回ニュースをお届けします
お問い合わせは、上記事務所まで。ニュース購読で、あなたもジュゴンサポーターに!